

その5 湘南潮来 相模川に沈んだレールを探せ



あっちになにか見えるよ!

○広報編集長 「君たちは相模川に沈んでいるというレールを探して謎を解きなさい」
○子ども記者 「レールって、電車が走るレール?」

わたしたちは「相模川」レール」という言葉をヒントに、相模川にかかるJR東海道線の鉄橋の下に行ってみました。
「ここからではよく分からないね」
「船に乗って調べることはできないかな」
そこで、須賀港に行ってみることにしました。港に着いたわたしたちは、船の手入れをしていた人に船に乗せてもらえないか頼んでみました。
「いいよ、乗いな」
船長さんはやさしく乗せてくれました。

鉄橋まで直行!と思ったけれど、なんと潮が引いてきて川の浅瀬で船が動けなくなっていました。その後、しばらく水の上でプカプカ…。暑すぎる日差しがきつ…。川では魚がピョンピョンはねています。水上バイクに乗る人たちが気持ちよそです。
しばらくすると潮が満ちてきました。船も動けるようになり、電車が通る鉄橋の下までやってきました。橋の間を見てみると大きな四角い石の固まりが川を横切るようにいくつも並んでい

湘南潮来(相模川馬入橋下流)
バス 平塚駅北口から茅ヶ崎駅行きなどで「馬入橋」下車徒歩10分、大人片道170円



川の真ん中にレールのようなものが…これは一体なんだろう

水中にもレールのようなものが

「船長さん、川に沈んだレールの謎って知っていますか?」
船長さんが教えてくれました。「聞いた話では四角い石の固まりは今から80年以上前、関東大震災で崩れてしまった橋脚の跡、さびた鉄はそのとき沈んだ電車のレールかもしれないよ」わたしたちは驚きました。
「大正時代の物が目の前にあるなんて」
「川の底では今もたくさんレールが眠り続けているのかも」
興味は尽きませんが、真相は謎に包まれたまま…。

「この石や鉄はなに?」
ひよっとして、この鉄の棒みたいなものが探しているレールでは…。
「船長さん、川に沈んだレールの謎って知っていますか?」
船長さんが教えてくれました。「聞いた話では四角い石の固まりは今から80年以上前、関東大震災で崩れてしまった橋脚の跡、さびた鉄はそのとき沈んだ電車のレールかもしれないよ」わたしたちは驚きました。
「大正時代の物が目の前にあるなんて」
「川の底では今もたくさんレールが眠り続けているのかも」
興味は尽きませんが、真相は謎に包まれたまま…。



- 多田恵さん (中原小学校6年)
- 竹本良嬉さん (旭小学校6年)
- 原和也さん (勝原小学校6年)

わたしたちが調べたよ!

その6 湘南平のてっぺんを探せ



○広報編集長 「君たちは湘南平に登っててっぺんを探してきなさい」
○子ども記者 「てっぺんは広場のところじゃないの?」
○広報編集長 「では、それを確かめきなさい」

そういうわけで、湘南平にやってきました。遠足やお花見で来たことがあるから湘南平のことはよく知っているつもりだったけれど、一体、どこから探せばいいんだろう。
「湘南平はたいら…。どこも高さは同じじゃない?」
「ひよっとして、テレビ塔のことかな」
「あ、そうかもね! じゃあ、詳しくその人に聞いてみようよ」
赤と白に塗られた大きなテレビ塔。この上がてっぺんだったということを確認するために、湘南平レストハウスの管理人さんに話を聞いてみました。

「湘南平のてっぺんって、あのテレビ塔の上のことですか?」
「確かに建物のてっぺんはそこだね。でも山のてっぺんだったらここのじゃなくよ。今いる広場の高さはだいたい170mほど、ここよりもっと高いところがあるんだ。テレビ塔の横にある道から行けるから探してごらん」
湘南平のてっぺんって山の頂上のことなのか。じゃあ、本当のてっぺんを探し出せよう!
管理人さんが言ったとおり、テレビ塔の横に山の中へ続く道がありました。木の根っこがごつごつ出ていて今にも転んでしまいそう。三人でがんばって



テレビ塔の下を通過して出発だ!



湘南平(万田)
バス 平塚駅北口から湘南平行き終点下車、大人片道260円

登っていると、後ろから「登山等三角点」と書かれた石が埋まっていた。このあたりがてっぺんだよ。
「ここには、湘南平の頂上を探しているんですけど、どこにあるか知りませんか?」
「それは浅間社のあたりだね」「せんげんやしろ?」
「江戸の昔、富士山を神様として崇める浅間信仰が広まりました。しかし富士山に登るにはお金も日数もかかります。そこで、富士山の見える山頂や高台に浅間社をまつり、富士山の代わりにお参りすることで願いが通じると考えられました」
「…というわけで、湘南平にも浅間社があるんだ。この先にあるから探してごらん」
ときどき転びそうになりながら、なんとか上まで到着。確かに小さなやしろがあった。その横には「浅間山 181.2m」と書かれた石が埋まっていた。偶然の出会いですごくいいつかガイドをやってみようかな。

「本当だ、広場より高い。へえ、ここが頂上なんだ!」
「そういえば、おじさんたちはどうしていろいろ知ってるの?」
「わたしたちは観光ガイドのボランティアをしているんだよ。君たちも、大きくなったらボランティアに参加してね」
「本当だ、広場より高い。へえ、ここが頂上なんだ!」
「そういえば、おじさんたちはどうしていろいろ知ってるの?」
「わたしたちは観光ガイドのボランティアをしているんだよ。君たちも、大きくなったらボランティアに参加してね」



山登りの途中に出会いがありました。「湘南平のてっぺん、知りませんか?」

これが浅間社だよ

湘南平のてっぺんをみつけたよ!